

三木市記者発表資料 (令和4年2月16日発表)			
担当部課名	担当長	担当係	電話番号
総合政策部 秘書広報課	課長 正心均 (内線 2410)	広報広聴係	0794-82-2000 (内線 2414)

タイトル	
印刷以外は全て職員の手作り 「広報みき」が県広報コンクール広報紙部門で 23 年ぶりに入賞	
内 容	
<p>第 69 回（令和 3 年度）兵庫県広報コンクール 広報紙部門（市の部）において、「広報みき 2021 年 7 月号」が佳作に選ばれました。なお、広報紙部門（市の部）での三木市の受賞は平成 10 年度以来 23 年ぶり※となります。</p> <p>※町の部では合併前の吉川町が平成 16 年度に受賞。</p>	
1 受賞作品	広報みき 2021 年 7 月号
2 部 門	広報紙（市の部）（応募作品数：27 点）
3 受 賞	佳作
4 主な記事の 掲載意図	<ul style="list-style-type: none"> ・特集「つながる×ひろがる～コロナ禍に考える介護予防～」では、コロナ禍に伴う自粛生活の長期化により、体力や気力の虚弱リスクが高まっていたことから、市内の高齢者に向け、コロナ禍でもできる虚弱予防や認知症対策について、市民や有識者へのインタビューを中心にまとめました。 ・裏面（P32）の三木市の魅力紹介コーナー「みきのええトコ」では、市の介護保険料が兵庫県下において 9 年連続で一番低いことを紹介。介護保険料が抑えられている要因の一つとして、市民の皆さまの介護予防への理解の高さを紹介し、さらなる関心喚起を図りました。
5 審査講評 （全体講評 から抜粋）	<p>コロナ禍で市民の暮らしが大きく変わる中、伝えるべきことは何か。担当者の思いがはっきりと伝わることを基準に審査した結果、コロナ禍の介護予防の取り組みを伝えた三木市が印象に残った。</p>
セールスポイント	
<p>平成 31（令和元）年度から、市民インタビューなど、人に焦点を当てた情報の充実に取り組み、令和 2 年度にはコスト削減と読みやすさの向上を目的に、印刷以外の製作を市役所内で行う「広報紙の内製化」に取り組んできました。</p> <p>今後、広報みきを通して、市への誇りや愛着を感じてもらえるよう、令和 3 年 11 月から参画中の広報アドバイザーとともにさらなる充実を図っていきます。</p>	

